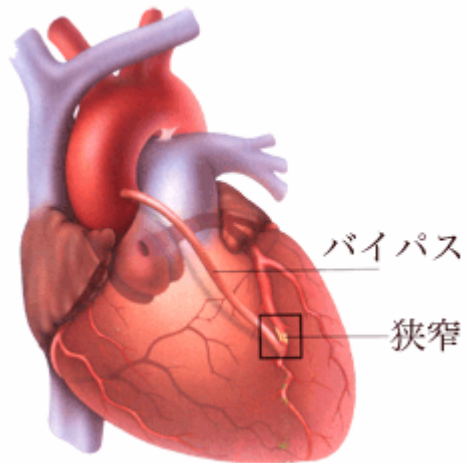


## どのような治療がありますか？

日本で AC バイパス術が始められたのは 1970 年台からで、現在年間約 22000 例のバイパス手術(約 500 施設)が行われています。

これまで心臓の手術は基本的には人工心肺装置(体外循環)を使用しておりましたが、最近では人工心肺装置を使用しない AC バイパス術(OPCAB)が主流となっています



### **OPCAB**

off pump CABG

**利点：**人工心肺を用いないので、手術侵襲や臓器機能障害の程度も軽くなり、術後の回復が比較的早くなります。

**欠点：**心臓が動いた状態で手術をするため高い技術が必要とされ、時に細い血管や、状態の悪い血管、比較的バイパスしにくい部位などもあり、手術中の循環動態の変化への早急な対処が難しい欠点もあります。

### **CCAB**

conventional CABG

**従来行われてきた方法で、安定した成績が得られています。**

**利点：**血管吻合中は循環動態は維持されており、重症の不整脈や出血などにも早急な対処が可能です。

**欠点：**人工心肺に起因する合併症\*も起こる可能性があります。

\* 脳梗塞・出血など

治療の適応にあたっては循環器内科医及び心臓血管外科医が循環器病学会などで出された治療指針をもとに検討し、その選択にあたってはあくまで患者様・ご家族方のご意思を尊重させていただきます。